

担い手の経営のライフステージに応じた支援

 (3) 復興ファンドを活用した金融対応について
農林中央金庫 福島支店（福島県）

新規	継続
○	(年 月)

1 動機(経緯)	農林中央金庫 福島支店（以下「福島支店」という。）では、A株式会社に対し、B投資育成株式会社と連携し、復興ファンドの出資を行うとともに、日本政策金融公庫（以下「日本公庫」という。）の農業経営基盤強化資金 21.9 百万円を活用し融資支援を行いました。
2 概要	<p>A株式会社は、南相馬市小高区で 2017 年 1 月に創業し、主にコメの生産を行う農業法人です。</p> <p>小高区は 2016 年 7 月に東京電力福島第一原発事故に伴う避難指示が大部分で解除されたものの、帰還する担い手が少ないなか、当社は地域の農業復興に寄与するために、行政と連携して先進的な機械や施設を導入し、いち早く生産を開始しました。</p> <p>2018 年度は、昨年度に引き続き福島県のオリジナル水稲品種「天のつぶ」を主食用米として約 24 h a 作付するほか、大豆や菜の花などを栽培しました。将来的には 250 h a 程度まで規模拡大することを目指しており、地元高校等と連携した新卒採用に力を入れるなど、さらなる大型化を見据えた体制づくりにも取り組んでいます。</p> <p>これらの取り組みは地域の農業復興と活性化につながるものであることから、金庫は当社に対する金融面での助言（コンサルタント機能の提供）を行うとともに、アグリ社ならびに日本公庫と連携した金融対応を行いました。</p>
3 成果(効果)	南相馬市小高区における営農再開のトップランナーである当社を金融面からサポートし、事業の安定化を実現しました。
4 今後の予定	金庫は今後も J A グループの一員として、引き続き被災された農林水産業者の支援を継続していく方針です。